

▼6月11日
雨にも負けず田植え



岡田小学校の5年生は、「総合的な学習の時間」の授業として、学校近くの水田で田植えを行いました。あいにくの雨模様でしたが、児童たちは互いに協力して、一苗ずつしっかりと植えていき、約600㎡の田植えを完成させました。これから、児童たちは毎朝田んぼに来て、水管理を行いながら稲の生育を観察し、秋の収穫を目指します。

▼6月8日
松前小児童がわくわく町探検



松前小学校の2年生は、生活科学学習の一環で「わくわく町探検」を行いました。探検では、グループに分かれ公共施設やお店などを訪問しました。そこで、働く姿を見学したり、「どんな仕事をしているのですか」「大変なことは何ですか」など、働いている人たちにインタビューをしたりした児童たち。実際に見たり聞いたりすることで、「働く」についての理解を深めていました。

▼5月30日
雨の中でもにぎわう「ホタル鑑賞会」



上高柳のグリーンハウス・シオンで「ホタル鑑賞会」が行われました。鑑賞したホタルは、ホタル再生の会（赤坂宏作会長）が育てたもの。「昨年より数は少なかったが、平地でこれだけのホタルが見られるのは珍しいと思う」と赤坂会長が話すように、多くの人がなかなか見られない幻想的な光のショーを楽しみました。さらに会場では地域で売店を出し、交流を深めていました。

▼5月24日
「北伊予のえ〜とこ」をめぐる



松前町レクリエーション協会は、全国一斉「あそびの日」に合わせ、「北伊予え〜とこカルタめぐり」と題してウォークラリー大会を行いました。大会では、始めに「松前え〜とこカルタ」大会をみんなで行った後、絵札に書かれている伊予神社や晴光院など北伊予地区の名所をめぐるしました。参加者は、絵札を思い出しながら、名所を実際に目で確かめて楽しんでいました。

▼6月14日
スポーツで広がるふれあいの輪



フレッシュ・リブまさき「軽スポーツ大会」は松前公園で開催され、幼稚園、保育所、学校のPTA、女性団体など26団体から約250人が参加しました。10回目となる今回は、町制施行60周年とえひめ国体に関連する種目を中心に実施。「跳んで回して60周年」と題した長縄対決や、みきゃんと一緒にえひめ国体の「えがお体操」を行うなど、参加者はフレッシュな汗を流し、ふれあいの輪を広げていました。

▼6月9日
色とりどりの花が役場でお迎えます



伊予農業高等学校の園芸流通課の2年生13人は授業の一環で、役場玄関の花壇の植え替えを行いました。玄関を飾るのはポーチユラカ約300株です。赤、ピンク、オレンジなど色とりどりの花が、生徒たちの手によって手際よく丁寧に植えられていきました。庁舎を彩るポーチユラカは、秋ごろまで楽しむことができます。

▼6月4日
秋の大相撲松前場所を楽しみに



10月に町制施行60周年を記念して行われる「大相撲松前場所」を前に、大関の琴奨菊関と佐渡ヶ嶽親方が白石町長を表敬訪問しました。「楽しみにしている」という白石町長の言葉に、琴奨菊関は「巡業は力士とのふれあいが多くできます。全力士がいいパフォーマンスをして、激しい相撲も見せたい」と意気込んでいました。そして、がっちり握手を交わし、松前場所の成功を誓いました。

▼5月29日
えひめ国体に向けて



えがお愛顔つなぐえひめ国体松前町実行委員会の総会は、役場で開かれました。総会では、来年の9月から開催されるリハーサル大会や現在整備中のホッケー場の工事計画について報告があったほか、6月から始動する4つの専門委員会についての説明がありました。専門委員会では、町民運動実施計画をはじめ、各種計画の検討などをしていきます。